

ヒロセ電機株式会社

2019年3月期決算説明会 Q&A 要旨

Q1：

今期1Qの分野別動向に関して、どう見えているか知りたい。

A1：

対前四半期比、スマホ向けプラス、自動車向け横ばい、産機向け回復のイメージ。

注意点はスマホ向け5Gの展開、産機向け以前よりやや市況感が明るくなっていること。

Q2：

今期の自動車向けは増収の予想だが、どのような内容か？

A2：

自動車全般的にICT化が進んでいる流れに対応して展開している。

Q3：

研究開発費の実績と見通し、為替感応度が知りたい。

A3：

研究開発費、2018年度実績130億円、2019年度予想130億円。

為替感応度、ドル1円当たり、年間売上5.7億円の影響と見込んでいる。

Q4：

自動車向けの中期的な売上増額を知りたい。

A4：

中期数値は未開示だが、中期的には車載市場向けの伸びに期待している。

Q5：

昨年度は急激な需要環境が悪化して減収になってしまったが、結果的には売上がここ数年伸びていない、どう考えるか。

A5：

原因をしっかりキャッチングすることが重要。車載向け産機向け強化してきたが、やはり時間を要す。コンシューマー向けのサイクルと異なりオーダーテイクまで長くかかる。

もっと前さばきをしないといけないということ。

免責事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。